

1 実践の概要

タイトル	地域連携合同防災訓練（能代市立東雲中学校）
概要	地震発生後の一次避難と津波警報発令後の二次避難及び避難所開設の初期対応を想定した避難訓練を地域合同で実施 期 日：平成25年5月24日（金） 場 所：東雲中学校校舎等 時間帯：授業時間 参加者：全校生徒241名・職員30名・地域住民約50名

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
1 事前打合せ	● 自治会長さんの家に直接伺い、地域連携合同防災訓練実施の自治会住民参加要請と地域防災委員会の立ち上げに自治会長さんの出席依頼をした。
2 地域防災委員会の立ち上げ 向能代上町自治会長、あけぼの町自治会長、能代消防署向能代出張所長、能代市防災危機管理室長、PTA会長、PTA副会長、学校職員6名	○ 能代市防災危機管理室長や能代消防署向能代出張所長の出席を得て、地域連携合同防災訓練の必要性や避難所になる中学校の備蓄庫や備蓄品の周知を図った。
3 地域連携合同防災訓練当日 (1) 各学級事前指導 地域住民集合・日程説明 (2) 地震発生 (3) 生徒一次避難開始・地域住民誘導 (4) 人員確認・津波警報発令 (5) 生徒二次避難・地域住民誘導 (6) 人員確認 (7) 避難所開設	○ 地域住民の集合場所である本校前庭に投光器2機と発電機1機を設置し、目印とした。 ○ 放送による指示は予備電源のある緊急放送設備を使用。 ○ 一次避難場所は前庭。二次避難場所は校舎最上階。避難所開設は体育館と避難場所を移動させた。 ● 地域住民の校舎最上階への階段移動は、時間がかかった。 ○ 非常食や非常飲料を地域住民に試食してもらった。 ○ ブルーシートや間仕切り板、毛布等を運んで避難所の区分を実際に行った。

連携先	団体名・組織名	連携の内容
保護者・PTA関係	・PTA会長、PTA副会長	・地域連携合同防災訓練の意義の共通理解
地域組織	・向能代上町自治会 ・あけぼの町自治会	・東雲中学校区地域防災委員会の立ち上げの説明 ・地域連携合同防災訓練の意義の共通理解 ・本校体育館が避難所であるという共通理解 ・備蓄庫及び備蓄品の紹介
国・地方公共団体・公共施設	・能代市防災危機管理室 ・能代消防署向能代出張所	・地域防災委員会の必要性 ・効果的な避難の仕方

3 成果と課題

成 果	<ol style="list-style-type: none">1 初めて、地域連携合同防災訓練を行い、生徒の防災意識が高まると同時に、中学校に隣接している自治会住民との連携が深まった。2 中学校の体育館脇にある能代市災害時備蓄庫や備蓄品の紹介で生徒や地域住民に周知できた。3 地震の避難だけでなく、津波警報発令時の避難の仕方を生徒や地域住民に周知させることができた。4 地域防災委員会を立ち上げることで、能代市防災危機管理室や能代消防署向能代出張所の参画や協力を得ることができた。
課 題	<ol style="list-style-type: none">1 高齢者の避難を支援する方法についての検討2 避難所開設時の人員の把握及び能代市と学校職員の役割分担3 避難活動は可能であるが、学校職員が全校生徒と地域住民と一緒に避難所の開設等に取り組むには限界があり、能代市役所と協力していく必要がある。
今後の継続予定	<ol style="list-style-type: none">1 地域防災委員会の対象自治会を代えて、今後とも地域防災委員会及び地域連携合同防災訓練を継続していきたい。(中学校が避難所という意識を地域住民に浸透させたい)2 ワンパターンにならないよう、少しずつスタイルを変化させながら防災訓練の計画を策定していきたい。3 近隣の小学校と連携した合同防災訓練も計画していきたい。